

疼痛が関連した顎関節症 日本顎関節学会：診断決定樹

病歴聴取

病歴聴取で部位の限局した疼痛を認める [SQ3]
かつ
顎運動時, 機能運動時, 非機能運動時の疼痛の変化を認める [SQ4]

SQ: DC/TMDのSymptom Questionnaire
E: DC/TMDのExamination Form
を参照のこと

診察・検査

術者が咀嚼筋・顎関節の疼痛部位を特定できる [E1a]

いいえ
他の疼痛疾患を調べる

はい [咀嚼筋の場合]

はい [顎関節の場合]

[最大開口時 [筋, E4] または
咀嚼筋の触診時 [筋, E9] に
“いつもの痛み”を認める]
かつ
疼痛部位を特定する [E1a]

いいえ

他の疼痛疾患を調べる

[最大開口時 [関節, E4]
または
下顎偏心運動時 [関節, E5]
または
顎関節の触診時 [関節, E9] に
“いつもの痛み”を認める]
かつ
疼痛部位を特定する [E1a]

はい

確定診断

咀嚼筋痛障害

顎関節痛障害